



252

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年3月2日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

～多彩な120人を率いる近藤良平さん～

新たな創作への胎動

3月2日(日)=1、3面



迫る

トレードマークはあごひげ。人懐っこい笑顔。彩の国さいたま芸術劇場の芸術監督、近藤良平さん＝写真＝は新たな試みに取り組んでいます。ダンスカンパニー「コンドルズ」を主宰し、NHKのコメディ番組「サラリーマンNEO」の体操コーナーの振り付けなどを担当しました。

現在は同劇場の芸術監督として、地域と劇場をつなぐイベントなどに励んでいます。芸術監督は3年目で、巨匠・蜷川幸雄氏（故人）の後任。昨年、自身のアイデアとして、「カンパニー・グランデ」というグループを立ち上げました。年齢、男女、プロ・アマ問わず、障害者も参加するという

多彩な面々で、メンバーは計120人にもなります。3月13日から始まる初公演を前に稽古をつけている最中なのですが、そこでいつもの口癖、「いいっすねえ」を封印しているように見えました。その理由とは――。近藤さんのダンスにかける情熱、信念はどこから来るのか、に迫ります。



万博版ライドシェア

3月2日(日)=総合面

間もなく始まる大阪・関西万博（4月13日～10月13日）に向けて、一般ドライバーが自家用車を使って有償で客を運ぶ「ライドシェア」が大阪府内全域で24時間運行可能になり

ました。昨春以降、都市部を中心に各地で導入されてきた「日本版ライドシェア」とは、何がどう異なるのでしょうか。「万博版」の狙いや課題を探りました。



2025年大阪・関西万博の会場＝大阪市で2025年1月27日、本社ヘリから撮影

特集 **ワイド**

推し活居酒屋ルポ

3月3日(月)=夕刊2面



持参したグッズと推しカラーの飲み物を並べて楽しめる「推し活居酒屋 ○○の会」＝東京都豊島区で撮影

近年、よく見聞きするようになった「推し活」は、アイドルやアニメのキャラクターを応援したり、他の人にすすめたり、自分も堪能したりする行為です。同じ対象を追いかける人たちが、人目を

はばかることなく推し活にひたれる居酒屋が、東京・池袋でオープンして1年になります。全国各地から客が訪れるといいますから、あなどれません。記者がお邪魔し、中の様子をレポートします。



論点

選択的夫婦別姓導入への賛否

3月7日(金) 11オピニオン面

希望すれば夫婦それぞれがこれまでの名字を維持できる「選択的夫婦別姓」の導入が、国会の焦点の一つになっていきます。1996年に法相

の諮問機関である法制審議会が導入を答申したものの、自民党が反対の立場であったため棚上げされてきた長年の懸案です。最近では、子どもの立場をどう考えるかも注目されています。国連の中満泉事務次長らに、賛否それぞれの意見を聞きました。

毎日新聞

竹橋の窓辺から
毎日新聞社の「たのシニア生活彩り倶楽部」は15日、「おひとり様の安心できる財産管理ガイドセミナー」を奈良市で開催します。全世帯（65歳以上）の1／3はおひとり様世帯です。おひとり様の困りごとNO.1と言われる介護・終活まで網羅したお金の管理について、地域密着の行政書士と、経験豊富なプロのFPがお話しします。参考になること間違いなし、是非QRからお申し込みください。（小林知史）



編集後記

